

# 第 3 章 保 健



## 第1節 母子保健

### 1 健やか妊娠育児支援強化事業

多胎妊娠や若年妊娠等のハイリスク妊娠に対して、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携し、妊娠の早期から出産後の育児に至る経過を支援することにより、保護者の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目的とする。

表1-1 多胎妊婦教室

(平成30年度)

事業名	日時及び会場	対象	内容	従事者	参加者数
二人っ子・三人っ子のママのつどい (年3回)	①平成30年7月26日(木) 白山市子育て支援センター げんきっこ広場	白山市・野々市市在住の多胎妊婦	講師；すみれ助産院 山岸和美助産師 ■講話 「二人っ子妊娠中の過ごし方、育児の工夫等について」 ■座談会 双子手帳・社会資源の活用、子育て支援センターの紹介	保健所保健師 市町保健師 子育て支援センター所長	妊婦 1人
	②平成30年11月19日(月) 野々市市子育て支援センター 菅原				妊婦 1人 ピアポーター1人
	③平成31年3月12日(火) 白山市福祉ふれあいセンター				妊婦 1人

表1-2 多胎妊婦・育児支援教室

(平成30年度)

事業名	日時及び会場	対象	内容	従事者	参加者数
二人っ子・三人っ子のママのつどい (年3回)	①平成30年7月31日(火) かほく市宇ノ気子育て支援センター	かほく市、津幡町、内灘町在住の多胎妊婦及び産婦(3歳未満の多胎児の保護者等)	講師；すみれ助産院 山岸和美助産師 ■講話・座談会 「二人っ子妊娠中の過ごし方と出産、育児等について」 先輩ママとの交流、多胎児育児の実際、双子用おんぶグッズや多胎ネットの紹介等	保健所保健師 市町保健師  (託児；母子保健推進員)	産婦 3人 ピアポーター1人 (託児利用) 双子乳児1組、学童1人
	②平成30年11月27日(火) 内灘町保健センター				妊婦 1人 産婦 2人 ピアポーター1人
	③平成31年3月8日(金) 津幡町福祉センター				妊婦 2人 産婦 1人

表1-3 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 紹介経路別妊娠週数

(平成30年度)

紹介経路		20週未満	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36週～	産婦	計
石川中央	市 町	13	-	-	-	-	-	22	35
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療機関	15	6	4	5	3	5	221	259
計		28	6	4	5	3	5	243	294

表1-4 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 リスク要因別件数（複数計上あり）（平成30年度）

	リスク要因		妊婦	産婦	計
	石川中央	多胎	双子	13	12
三つ子以上			-	-	-
若年		15歳以下	-	-	-
		15～19歳	4	9	13
高齢		35歳以上	6	31	37
		40歳以上	3	9	12
未婚			17	22	39
母の身体的疾病			7	7	14
母の精神的疾病			15	27	42
産婦一般健診でEPDS高得点			-	132	132
その他（育児不安等）			27	121	148
計		92	370	462	

表1-5 未熟児等母乳哺育支援事業実施数 リスク要因別（平成30年度）

	リスク要因	実人員	実施回数
石川中央	未熟児	2	3
	多胎児	3	6
	ハイリスク産婦	19	30
	その他	1	1
計		25	40

## 2 母親のメンタルヘルス支援事業

母親の育児不安や産後うつ病等の状況を早期に捉えて、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携により支援するとともに、妊産婦の心のケアが実施できる体制を整備し、親と子の健やかな成長を促すことを目的とする。

表2-1 要支援者の把握経路及び支援状況

(平成30年度)

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町	石川中央保健福祉センター
要支援対象者数	469	36	106	77	14	31	205
支援実人数	465	36	106	77	14	31	205
市町・保健福祉センターのみでの支援	462	35	106	73	14	31	203
他機関に紹介	3	1	-	-	-	-	2

表2-2 母子保健支援事例検討会開催状況（市町主催）

（平成30年度）

	管内	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
開催回数	66	12	24	6	12	12

※個別事例検討会を含む

## 3 相談・訪問指導

表3 対象別相談訪問指導状況

（平成30年度）

区分			妊産婦		新生児 (未熟児除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児除く)		幼児		その他		計	
			実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
石川 中央	相談	来所	193	324	-	-	1	3	4	4	1	1	400	615	599	947
		電話	268	798	-	-	1	6	2	4	1	8	166	328	438	1,144
	訪問指導	3	9	-	-	2	12	2	3	2	10	-	-	9	34	
河北 地域 センター	相談	来所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	225	354	225	354
		電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	138	95	138

平成24年度より、訪問業務等を石川中央保健福祉センター（本所）に集約

## 4 講演会・連絡会等

講演会や連絡会等を開催することによって、管内の連携体制の構築を図ることを目的とする。

表4-1 連絡会・検討会

（平成30年度）

事業内容	実施月日 開催場所	参集者	目的	会議内容	参加 人数
管内市町予防接種・母子保健担当者連絡会	平成30年10月3日 13:30~16:30 石川県庁行政庁舎 1103会議室	市町母子保健・予防接種担当者	予防接種及び母子保健対策の現状と課題を共有し、事業の効果的・効率的推進を図ることを目的とする。	1 予防接種担当者連絡会 (1) 平成29年度予防接種実施状況調査結果について (2) 麻しん、風しんについて (3) 予防接種の間違い報告について (4) 情報交換 (5) その他 2 母子保健担当者連絡会 (1) 母子保健事業実施状況及び今後の予定について (2) 情報交換 (3) その他	15人
発達障害地域関係者連絡会	平成31年3月13日 14:30~17:00 石川県庁行政庁舎 1408会議室	市町母子保健・障害福祉・児童福祉担当者、発達相談センター担当者、教育委員会担当者	発達障害に関わる支援者が参集し、地域の実情に応じた早期発見、療育体制等について検討を行い、地域における支援体制の強化を図る。	テーマ「発達障害児への切れ目ない支援を行うために」 (1) 講義 「地域における医療との連携について」 講師：つじ小児科医院 院長 辻 隆範氏 (2) 白山市における地域連携システムについて 講師：白山市発達相談センター 横山 三千代氏 菊知 勢子氏 (3) 情報交換及び意見交換 (4) その他	23人

## 5 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業・相談状況等

### 1) 相互交流支援事業

小慢性特定疾病受給者証をもつ子の保護者を対象に、アドバイザーを囲み、保護者同士が相互交流する機会を提供する。同じ立場にある保護者同士が交流を持ち、アドバイザーの方から体験談を聴いて、相互に情報交換しながら日常生活や子育て上の悩み、将来への不安等の軽減をはかる。

表5-1 相互交流支援事業（保護者交流会）の状況 (平成30年度)

実施月日	会場(対象地区)	内容	参加人数
①平成30年10月12日 10:00～12:00	かほく市ほのぼの健康館 (河北郡市地区)	講話と交流会「病気をもつ子どもの子育てと親の気持ち」 アドバイザー：全国心臓病の子どもを守る会石川県支部 支部長 竹垣 和恵 氏	保護者2人 市保健師1人 託児：2人
②平成30年10月31日 10:00～11:50	白山市健康センター松任 (白山・野々市地区)	講話と交流会「病気をもつ子どもの子育てと親の気持ち」 アドバイザー：全国心臓病の子どもを守る会石川県支部 支部長 竹垣 和恵 氏	保護者6人

### 2) 相談支援事業

小慢性特定疾病児童とその家族のニーズに対応し、情報提供や相談者同志の交流が持てるよう、必要な支援を行なう。

表5-2 相談支援事業の状況 (平成30年度)

相談方法の種別		電話・メール	来所 ※	訪問
相談件数	実	238	303	2
	延		410	10

(※申請時面接を含む)

## 第2節 感染症

### 1 結核予防

#### (1) 新登録状況

表1 新登録状況（市町別・年齢別）

（平成30年）

	総数	活動性結核					罹患率 (人口10万 対)	潜在性 結核 感染症 (別掲)	
		総数	肺結核活動性			肺外 結核 活動性			
			喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他				
管内計	24	16	7	8	1	8	9.1	13	
市 町 別	かほく市	5	3	—	2	1	2	14.5	1
	白山市	11	8	5	3	—	3	10.0	5
	野々市市	1	1	—	1	—	—	1.8	—
	津幡町	4	2	1	1	—	2	10.9	3
	内灘町	3	2	1	1	—	1	11.2	4
年 齢 別	29歳以下	4	4	1	2	1	—	5.1	2
	30～39歳	1	1	—	1	—	—	3.3	—
	40～49歳	0	0	—	—	—	—	—	3
	50～59歳	4	2	1	1	—	2	12.8	3
	60～69歳	0	0	—	—	—	—	—	1
	70～79歳	3	3	3	—	—	—	10.2	1
	80歳以上	12	6	2	4	—	6	65.2	3

#### (2) 治療状況

表2 肺結核塗沫陽性者初回治療コホート

	平成22年	平成23年	平成24年	平成24年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
治療成功割合	73.52	63.64	40.00	40.00	38.46	81.8	75.0	78.6
治療失敗脱落中断割合	—	—	—	—	7.69	—	—	7.1
死亡割合	11.76	18.18	26.67	20.00	15.38	18.2	25.0	10.7
情報不明割合	3.61	—	6.67	—	7.69	—	—	3.6

※情報不明には、転出などでコホート結果が不明となった者を含む。

(3) 定期健康診断実施状況

表3-1 定期健康診断状況

(平成30年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検査内容			患者 発見数	発病の 恐れのある者
				ツ反	間接撮影	直接撮影		
事業主	10,872	10,414	95.8		1,625	8,781	-	-
学校長	4,347	4,327	99.5		327	4,000	-	-
施設長	1,526	1,471	96.4		582	889	-	-
市町長	67,946	15,797	23.2		2,813	12,984	1	-
合計	84,691	32,009	37.8	-	5,347	26,654	1	-

表3-2 定期健康診断(一般住民検診)状況(市町別)

(平成30年度)

区分	対象者	受診者	受診率 (%)	患者発見数	発病の恐れのある者	
管内	67,946	15,797	23.2	1	0	
うち、80歳以上	19,317	2,953	15.3	0	0	
市町別	かほく市	10,134	4,067	40.1	-	-
	うち、80歳以上	2,985	1,107	37.1	-	-
	白山市	31,804	3,204	10.1	-	-
	うち、80歳以上	9,280	334	3.6	-	-
	野々市市	10,021	3,651	36.4	-	-
	うち、80歳以上	2,524	798	31.6	-	-
	津幡町	8,776	2,333	26.6	1	-
	うち、80歳以上	2,583	141	5.5	-	-
	内灘町	7,211	2,542	35.3	-	-
	うち、80歳以上	1,945	573	29.5	-	-

(4) 接触者健診

表4 接触者健診

(平成30年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	保健所実施分			医療機関委託				その他実施分	患者	潜在性結核感染症	経過観察		
				延(実)	検査内容内訳		延(実)	検査内容内訳								
					IGRA	間接撮影		直接撮影	ツ反	IGRA					間接撮影	直接撮影
患者家族	50	50	100.0	41 (27)	41	—	—	7 (7)	2	6	—	2	2	—	2	2
その他	191	190	99.5	146 (146)	146	—	—	20 (20)	—	10	—	10	24	—	5	2
合計	241	240	99.6	187 (173)	187	—	—	27 (27)	2	16	—	12	26	—	7	4

※未受診者には、医療機関委託健診で年度内に結果返却がされず、確認できなかったものを含む

(5) 管理検診

表5 管理検診

(平成30年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	受診機関			要医療者数	要医療率	再発の恐れのある者
				保健所	委託医療機関	その他			
総数	76	74	97.4	—	45	29	—	—	—

※未受診者には、医療機関委託健診で年度内に結果返却がされず、確認できなかったものを含む

(6) 結核対策特別促進事業

表6 結核対策特別促進事業内容一覧

(平成30年度)

事業名	事業の目的	実施期間 (日時)	対象	内容
医師研修会	診断治療にあたる医師に対し、最近の結核医療についての知識の普及を図り、適切な結核医療を推進する。	平成30年10月5日 (金) 午後7時～9時	管内医療機関関係者、市町職員	管内の結核の現状について 結核の診断と治療 ～結核健診後の精密検査 及び合併症を併発した方の結核治療について～
普及啓発事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	平成30年11月2日 (金) 13:30～16:00 (うち20分間)	管内高齢者関係施設職員、市町職員	高齢者施設での結核対策について 結核の動向結核の特徴、結核の治療と患者への対応、結核の接触者検診とは、高齢者結核の早期発見のために
普及啓発事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	平成30年7月26日 (木) 13:30～14:30	一般高齢住民	結核の特徴や早期発見・早期治療の大切さ、日頃の健康管理などについて保健所職員が解説した。
普及啓発事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	平成31年2月19日 (火) 12:40～13:20	鶴来ライオンズクラブ会員	結核の特徴や早期発見・早期治療の大切さ、日頃の健康管理などについて保健所職員が解説した。

## 2 感染症予防

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に関する法律(以下感染症新法)」は、感染症の予防及びそのまん延の防止を目的として国及び地方公共団体が感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等が置かれてきた状況を踏まえ、これらの者の人権に配慮しつつ、総合的かつ計画的に対策を推進することを基本理念としている。さらに平成15年11月、近年の海外における感染症の発生状況や国際交流の進展、保健医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、検疫体制の強化、緊急時における国内感染症対策の強化、動物由来感染症対策の強化を目的として、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律(以下改正法)」が施行された。また、平成18年6月にインフルエンザ(H5N1)が指定感染症として定められている。

さらに、平成18年10月には、病原体等の管理体制や感染症をめぐる環境の変化、結核対策における見直しの必要性から、病原体等の管理体制の確立、感染症分類の見直し、結核予防法を廃止し感染症法に統合、患者の人権尊重のための手続きの改善、感染症に関する情報公開・収集について、法改正がなされ、平成19年4月(病原体等の管理体制については平成19年6月)に施行された。改正法では、感染症新法における感染症の類型区分をさらに見直し、一類感染症に南米出血熱を追加し、二類感染症に重症急性呼吸器症候群を位置づけ、結核を追加し、三類感染症にコレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスを位置づけた。

保健所では、医師の届出に基づき、感染源等の調査や二次感染予防のための指導を行っている。また、地域での研修会や健康教育を通して、関係機関が感染症について知識を持ち、感染症予防及び感染症発生時に適切な対応ができるよう支援している。

### (1) 感染症発生状況(一類・二類・三類・四類・五類:全数把握)

表1 一類・二類・三類感染症の発生状況(年次別発生件数)

疾患別		年												
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
一類 感染症	1	エボラ出血熱												
	2	クリミア・コンゴ出血熱												
	3	痘そ												
	4	南米出血熱*												
	5	ペスト												
	6	マールブルグ病												
	7	ラッサ熱												
	8	新型インフルエンザ(A/H1N1)												
二類 感染症	1	急性灰白髄炎												
	2	結核*	48	49	60	33	39	37	29	25	27	39		
	3	ジフテリア												
	4	重症急性呼吸器症候群												
	5	中東呼吸器症候群												
	6	鳥インフルエンザ(H5N1)												
	7	鳥インフルエンザ(H7N9)												
三類 感染症	1	コレラ												
	2	細菌性赤痢	2	2								1		
	3	腸管出血性大腸菌感染症	15	26	18	8	13	4	5	6	7	8		
	4	腸チフス												
	5	パラチフス												

\*平成19年4月の感染症新法の改正により新たに全数把握の対象となった疾患

表2 四類・五類感染症（全数把握）の発生状況（石川中央管内・年次推移）

疾患別		年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	E型肝炎						1		2	2	2	2
2	ウエストナイル熱											
3	A型肝炎										1	
4	エキノкокクス症											
5	黄熱											
6	オウム病											
7	オムスク出血熱*											
8	回帰熱											
9	キャサヌル森林病*											
10	Q熱											
11	狂犬病											
12	コクシジオイデス症											
13	サル痘											
14	ジカウイルス感染症											
15	重症熱性血小板減少症候群											
16	腎症候性出血熱											
17	西部ウマ脳炎*											
18	ダニ媒介脳炎*											
19	炭疽											
20	チクングニア熱											
21	つつが虫病											
22	デング熱										1	
23	東部ウマ脳炎*											
24	鳥インフルエンザ											
25	ニパウイルス感染症											
26	日本紅斑熱											
27	日本脳炎											
28	ハンタウイルス肺症候群											
29	Bウイルス病											
30	鼻疽*											
31	ブルセラ症											1
32	ベネズエラウマ脳炎*											
33	ヘンドラウイルス感染症*											
34	発しんチフス											
35	ボツリヌス症											
36	マラリア											
37	野兔病											
38	ライム病											
39	リッサウイルス感染症											
40	リフトバレー熱*											
41	類鼻疽*											
42	レジオネラ症	1	3	7	1	2	5	4	5	6	6	
43	レプトスピラ症											
44	ロッキー山紅斑熱*											

\* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患

疾患別		年										
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
五 類 感 染 症	1	アメーバ赤痢	2		1	1	2	3	1	1	2	1
	2	ウイルス性肝炎					1					
	3	カルバペネム耐性腸管細菌感染症						1	1	3	1	
	4	急性弛緩性麻痺										
	5	急性脳炎	1	1	2				1		1	1
	6	クリプトスポリジウム症										
	7	クロイツフェルト・ヤコブ病				1					1	
	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	2	1		1	1		
	9	後天性免疫不全症候群								1	1	
	10	ジアルジア症	1					1				
	11	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1		1	1	1	
	12	侵襲性髄膜炎菌症										
	13	侵襲性肺炎球菌症					3	3	4	4	3	5
	14	水痘（入院）							3	1	1	1
	15	先天性風しん症候群										
	16	梅毒	1	1	1		3	2	4	1	4	4
	17	播種性クリプトコックス症										
	18	破傷風		1								1
	19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
	21	百日咳										3
	22	風しん					3					2
	23	麻しん*									1	
	24	薬剤耐性アシネトバクター感染症*										

\* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患  
ただし、薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成24年1月14日に5類感染症に追加された。

(2) 感染症発生状況 (五類 定点把握)

ア 月別発生状況 (人数)

表3 小児科・内科・眼科疾患 (週報)

(平成30年)

感 染 症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザ	管内	994	1973	881	165	74	15	—	—	1	1	6	292	4402
	県内	4218	6412	3758	667	208	36	4	—	4	66	33	1141	16547
RSウイルス感染症	管内	1	1	17	14	1	1	1	26	178	42	15	4	301
	県内	53	48	68	41	13	29	82	118	445	241	94	72	1304
咽頭結膜熱	管内	26	18	28	20	35	49	24	11	2	5	21	42	281
	県内	83	95	83	61	101	138	45	29	20	42	83	166	946
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	53	66	135	84	79	101	48	18	40	52	67	139	882
	県内	380	593	817	399	386	536	278	175	257	264	356	611	5052
感染性胃腸炎	管内	198	130	233	234	239	245	158	108	118	117	246	604	2630
	県内	581	470	634	598	795	936	522	416	564	510	856	1705	8587
水痘	管内	15	11	4	4	7	12	4	22	16	2	19	42	158
	県内	98	38	48	36	39	59	22	37	39	19	50	101	586
手足口病	管内	2	6	5	1	3	23	5	6	37	20	11	25	144
	県内	18	16	13	5	9	55	70	43	115	61	30	64	499
伝染性紅斑	管内	8	10	23	13	3	4	2	8	2	7	19	59	158
	県内	14	17	43	25	15	15	29	28	17	22	43	91	359
突発性発しん	管内	15	10	16	21	14	30	22	11	22	23	24	13	221
	県内	41	32	44	57	66	83	59	34	57	53	58	39	623
ヘルパンギーナ	管内	—	—	—	1	1	7	50	88	48	23	1	1	220
	県内	—	—	—	3	2	10	150	296	230	69	20	4	784
流行性耳下腺炎	管内	1	—	—	2	4	3	1	1	—	—	—	—	12
	県内	13	6	8	7	13	14	12	9	8	4	9	4	107
急性出血性結膜炎	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
流行性角結膜炎	管内	7	6	5	8	7	4	1	0	3	14	7	17	79
	県内	9	12	6	13	9	6	2	1	11	22	14	24	129
細菌性髄膜炎	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	3
無菌性髄膜炎	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1	4
	県内	1	—	—	—	—	4	—	2	2	3	—	1	13
マイコプラズマ肺炎	管内	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
	県内	15	10	16	10	9	18	4	7	17	26	30	19	181
クラミジア肺炎	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	管内	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	県内	1	—	2	3	3	1	—	—	—	—	—	—	10

表4 STD疾患・薬剤耐性菌感染症（月報）

（平成30年）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
性器クラミジア 感染症	管内	2	2	3	3	2	6	6	4	5	7	6	5	51
	県内	10	13	18	17	19	42	22	24	28	30	31	34	288
性器ヘルペス ウイルス感染症	管内	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	1	4
	県内	5	8	12	1	4	5	8	8	7	7	9	8	82
尖 圭 コンジローマ	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2
	県内	2	—	—	2	2	3	4	4	5	5	2	3	32
淋菌感染症	管内	1	1	1	2	2	2	2	1	3	3	3	2	23
	県内	3	7	6	2	9	11	9	8	11	14	7	15	102
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	管内	8	1	3	3	6	1	6	5	0	8	4	7	52
	県内	22	15	20	21	23	14	23	28	19	25	26	28	264
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	—	2	2	2	—	1	—	—	1	1	—	—	9
薬剤耐性緑膿 菌感染症	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	3
薬剤耐性アシネ トバクター感染症	管内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	県内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

イ 疾患別発生状況（石川中央管内・定点あたり報告数）

図1 インフルエンザ・小児科定点把握疾患発生状況の月別推移（平成26～30年）

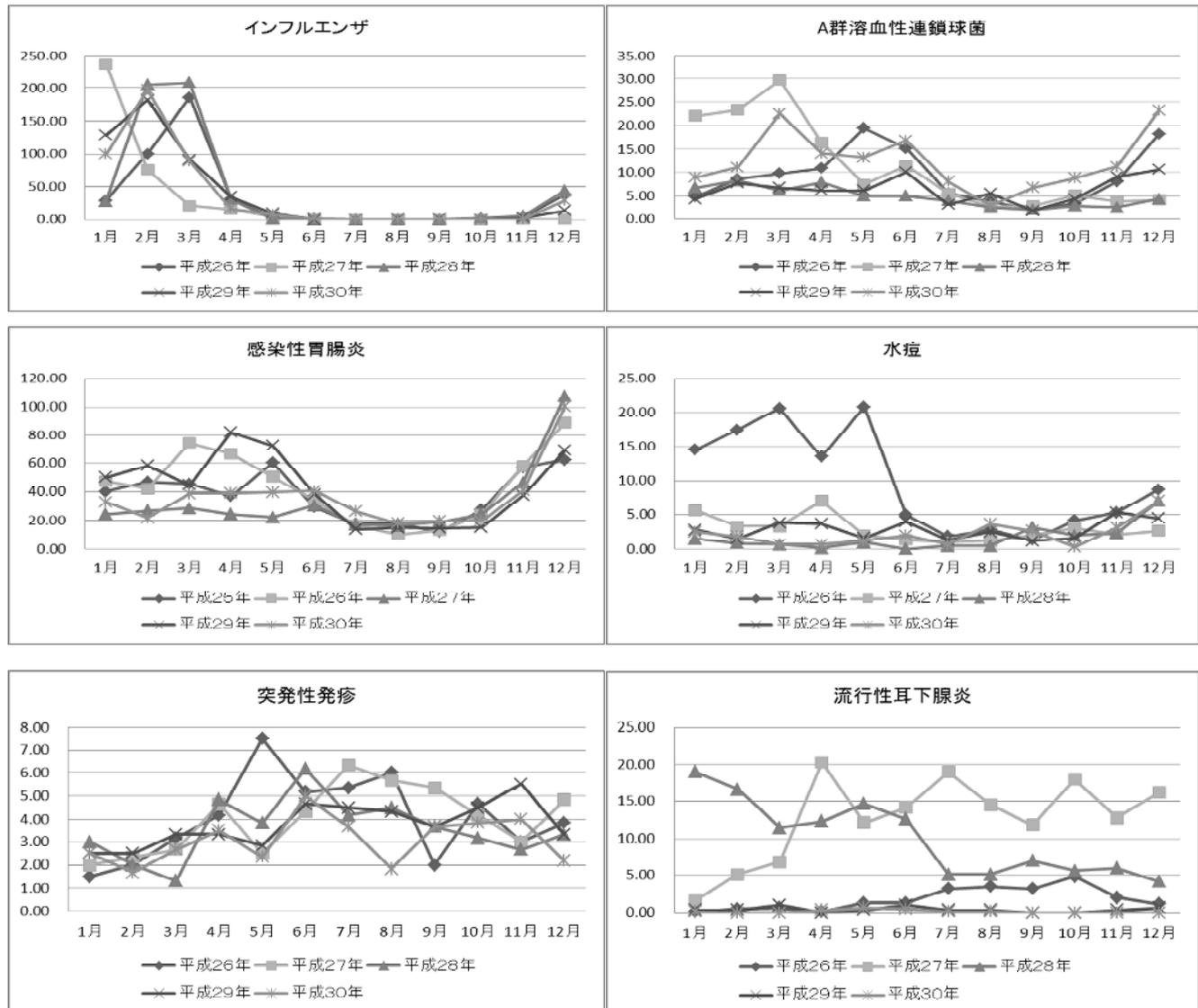


図2 S T D 疾患の年齢別発生状況（平成30年）

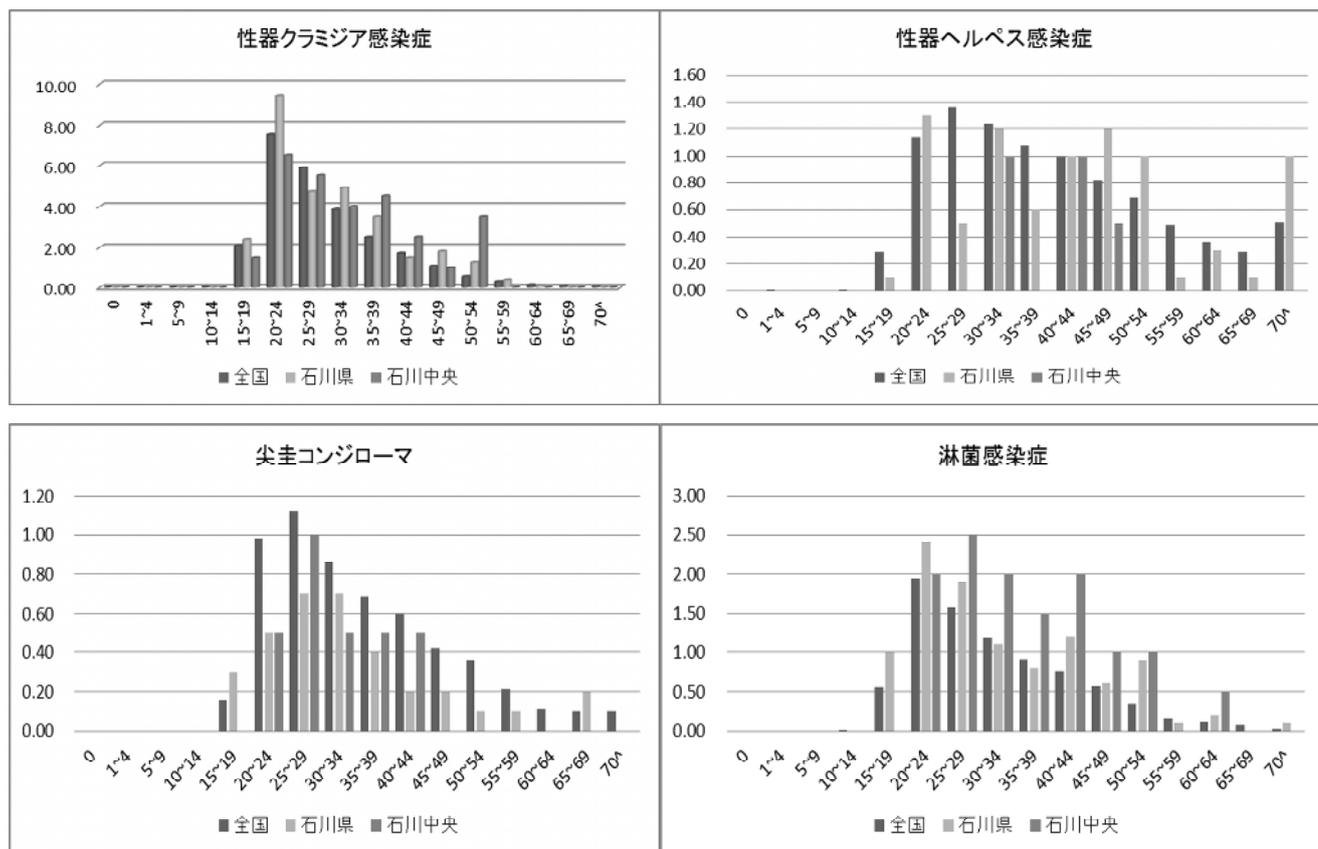
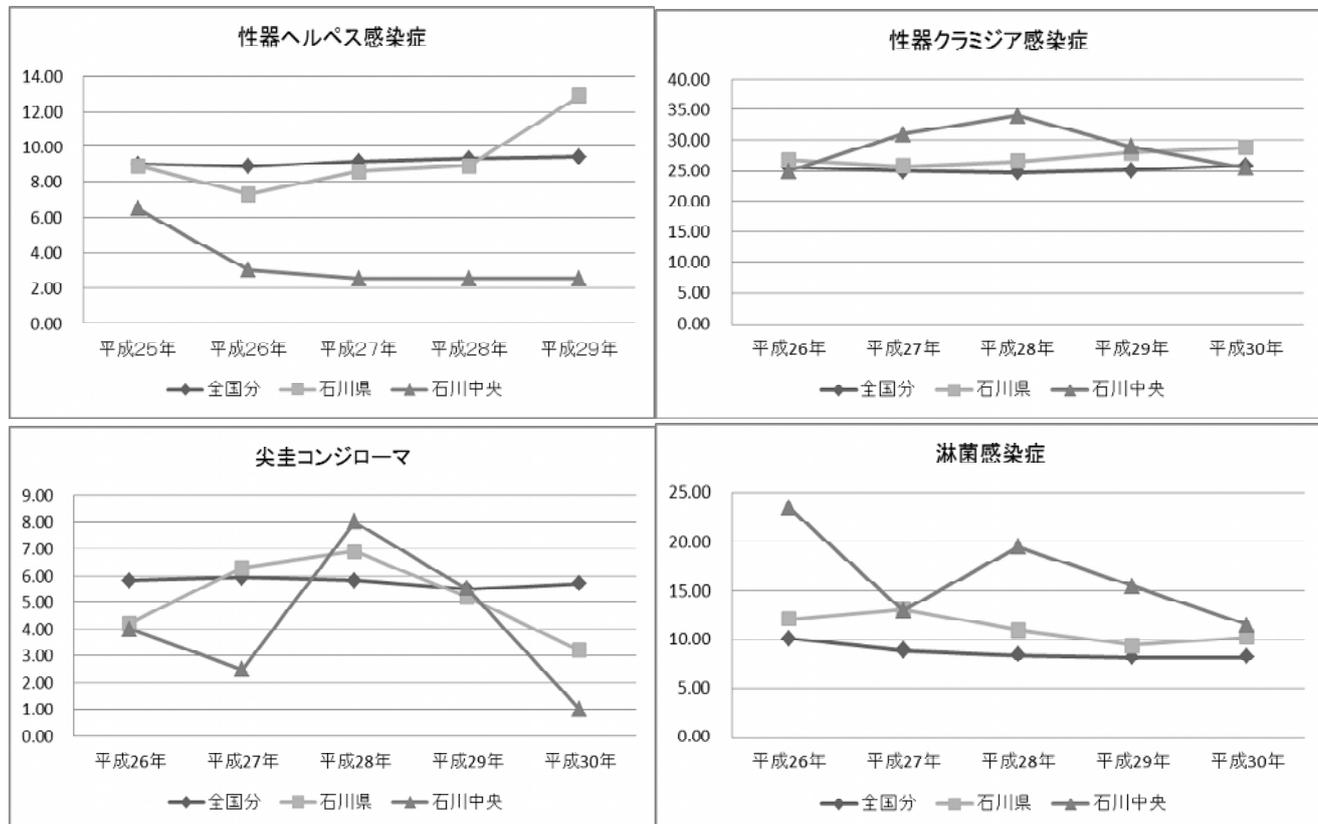


図3 S T D 疾患発生状況の経年推移（平成26～30年）



### (3) 感染症予防相談・訪問指導

表5 感染症予防相談・訪問指導状況

(平成30年度)

区分	1類感染症		2類感染症		3類感染症		4類感染症		5類感染症		その他		計		
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員									
相談	来所	-	-	138	195	3	6	-	-	204	498	-	-	345	699
	電話		-		1,237		39		12		220		5		1,513
訪問指導	-	-	46	113	14	22	6	6	14	20	1	1	81	162	

### (4) 感染症検査

表6 感染症検査実施状況

(平成30年度)

区分	患者・患者との接触者	食品取扱従事者	給食施設従事者	水道給水従事者	その他	計
検査依頼	-	-	-	-	-	0
行政	44	-	-	-	-	44
陽性件数	4	-	-	-	-	4

※感染症発生届出・感染症集団発生報告を受けて実施した検査件数

### (5) 感染症予防研修会

(平成30年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加人数
平成30年11月2日(金) 13:30~16:00 石川県リハビリ テーションセンター	1) 「高齢者施設のみなさん、結核対策をよろしくお願いたします」 健康推進課職員 2) 「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 3) 「ごぞんじですか？基本的な感染対策」 ・標準予防策、ノロウイルス感染症・インフルエンザ対策について ・実習 ・感染対策一問一答 金沢医科大学病院 感染管理認定看護師	高齢者福祉施設 職員 市町担当者	49名
平成30年11月9日(金) 13:30~16:00 いしかわ総合 スポーツセンター	1) 「麻しん・風しんの対策をよろしくお願いたします」 健康推進課職員 2) 「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 2) 「ごぞんじですか？基本的な感染対策」 金沢医科大学病院 感染管理認定看護師	保育所・幼稚園 職員 障害関連施設職員 市町担当者	44名

### (6) 感染予防のための施設巡回指導

(平成30年度)

実施日	施設数
認可外保育所	0ヶ所

※公立保育所は最低基準検査、法人保育所は指導監査と併せて感染症予防の指導を実施

### (7) 感染症に関する健康教育

(平成30年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成30年6月25日 14時00分～16時00分 白山市交流センター	白山市保育園職員	講義：保健衛生のポイント	32名
平成31年2月19日 14時40分～13時20分 つるぎショッピングスクエア アレッツ	鶴来ライオンズクラブ 会員	講義：インフルエンザの予防について、 手洗い実習	20名
平成30年12月19日 10時45分～11時15分 FM-N1	ラジオリスナー	講義：冬に流行する感染症	

### (8) 所内訓練

(平成30年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成30年12月27日 10時～12時 石川中央保健福祉センター	石川中央保健福祉センター職員	実技：新型インフルエンザ発生時の対応訓練	25名

### 3 エイズ・性感染症予防

#### (1) エイズ相談・検査

表2 エイズ相談・検査実施状況

区分 年度	地域別	相談受付件数			相談内容(再掲)		検査(再掲)	相談方法(再掲)	
		男	女	計	相談のみ	検査依頼	迅速検査	来所	電話
平成25年度	石川中央	131	65	196	17	179	159	182	14
	河北地域センター	4	3	7	2	5		5	2
平成26年度	石川中央	120	60	180	20	162	124	163	17
	河北地域センター	9	2	11	5	4		7	4
平成27年度	石川中央	128	37	165	15	150	128	154	11
	河北地域センター	9	2	11	8	3		4	7
平成28年度	石川中央	112	49	161	11	150	133	150	11
	河北地域センター	11	7	18	7	11		11	7
平成29年度	石川中央	104	35	139	3	136	122	136	3
	河北地域センター	7	7	14	7	7		8	6
平成30年度	石川中央	138	55	193	4	189	153	189	4
	河北地域センター	23	6	29	16	13		16	13

#### (2) 性感染症相談

表3 性感染症相談状況

区分 年度	地域別	相談件数			血液検査受付件数(再掲)			相談方法(再掲)		
		男	女	計	男	女	計	来所	電話・メール	計
平成26年度	石川中央	88	48	136	88	48	136	136	-	136
	河北地域センター	4	2	6	4	-	4	4	2	6
平成27年度	石川中央	100	28	128	91	24	115	116	12	128
	河北地域センター	2	-	2	2	-	2	2	-	2
平成28年度	石川中央	85	59	145※	83	34	117	117	28	145
	河北地域センター	7	11	18	6	4	10	10	8	18
平成29年度	石川中央	95	46	141	88	32	120	125	16	141
	河北地域センター	4	6	10	4	3	7	7	3	10
平成30年度	石川中央	127	49	176	124	49	173	173	3	176
	河北地域センター	20	6	26	10	3	13	13	13	26

※性別不明1を含む

### (3) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発

#### ア 講演会

目的：管内の高校において、生と性の健康について考える機会を提供し、エイズや性感染症に関する正しい知識と予防法を啓発するとともに命の大切さを学ぶ

日時：平成31年2月6日(水) 10:55 ~ 12:30

場所：石川県立鶴来高等学校

対象者：3年生 122人

講師：助産師 川島 真希 氏

内容：生と性の学習会「大切なあなたのことを話そう」

#### イ 健康教育

日時：平成30年11月12日(月) 10:40~11:20

場所：石川県立大学

対象者：1年生、2年生の一部 138人

講師：石川中央保健福祉センター職員

内容：性感染症とHIV/エイズ

#### ウ 普及啓発・広報

##### ①「HIV検査普及週間(6月1日~7日)」のPR

内容：管内の大学及び自動車学校でチラシ入りのポケットティッシュ配布  
所内にポスター掲示  
ホームページに掲載

##### ②ラジオ(FM-N1)での広報

内容：「世界エイズデーについて」

日時：平成30年11月21日(水) 10:15~11:00

##### ③成人式でのチラシの配布

内容：保健所のエイズ検査のPR等

## 4 ウイルス肝炎対策

### (1) ウイルス肝炎相談・検査

肝炎ウイルス検査は、40歳以上の者を対象に平成14年度から実施しており、平成15年度からは、40歳未満の者に対し有料検査が追加されていた。平成19年12月からは、40歳未満の者に対しても無料で検査を実施している。

表1 ウイルス肝炎相談・検査実施状況（保健福祉センター実施分）（平成30年度）

区分 年度	地域別	相談件数	血液検査受付件数（再掲）		
			男	女	計
平成26年度	石川中央	188	84	41	125
	河北地域センター	61	0	4	4
平成27年度	石川中央	92	65	19	84
	河北地域センター	2	1	0	1
平成28年度	石川中央	97	64	32	96
	河北地域センター	5	3	1	4
平成29年度	石川中央	75	55	19	74
	河北地域センター	11	3	3	6
平成30年度	石川中央	105	67	25	92
	河北地域センター	22	8	4	12

### (2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業

平成20年4月より、県民の肝炎ウイルス検査の受診機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図る事を目的として、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業が始まり、医療機関においても無料で検査を実施できるようになった。

検査の対象者は、県内（金沢市を除く）に居住する20歳以上の希望者で、過去に肝炎ウイルス検査を受けた事がなく、健康増進法その他の法令に基づく事業において肝炎ウイルス検査の受診の機会がなかった者である。平成29年度より、職場の健康診断と同時に実施した場合も対象となった。

H30年度は357名が受検し、その中でB型肝炎陽性者は2名、C型肝炎陽性者は1名確認された。陽性者に対しては、専門医療機関への受診勧奨や、研修会の開催等のフォローアップを行った。

表2 ウイルス肝炎検査実施状況（医療機関委託分）（平成30年度）

区分 年度	受検者数	陽性者数（再掲）	
		B型肝炎	C型肝炎
平成25年度	111	0	1
平成26年度	245	1	3
平成27年度	189	1	1
平成28年度	231	1	1
平成29年度	443	3	3
平成30年度	357	2	1

（3）研修会

表3 肝炎ウイルス感染者等支援事業（肝炎に関する講演会）（平成30年度）

日時・会場	対象	研修内容	参加状況
平成30年11月6日 14:00～17:00  石川県庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス感染者</li> <li>・感染者の家族等</li> <li>・管内市町肝炎対策担当者</li> <li>・保健所職員 等</li> </ul>	講演 「B型肝炎、C型肝炎の最新の治療」  講師：金沢大学附属病院 消化器内科・地域医療教育センター 特任教授 島上 哲朗 先生	3人

5 予防接種

表1 管内市町予防接種担当者連絡会（平成30年度）

日時・会場	対象	内容	参加状況
平成30年10月3日 13:30～16:30 石川県庁	市町予防接種担当者	1 平成29年度予防接種実施状況調査結果について 2 麻しん、風しんについて 3 予防接種の間違い報告について 4 情報交換	管内5市町及び当所担当者 計15人

### 第3節 精神保健福祉

#### 1 精神障害者受療状況

表1-1 精神障害者受療状況（精神入院）

（平成30年度）

	措置入院 管 内	医療保護入院						入院計 管 内 計
		管内 計	か ほ く 市	白 山 市	野 々 市 市	津 幡 町	内 灘 町	
総 数	5	814	124	332	139	135	84	819
症状性を含む器質性精神障害 (F00-09)	—	311	44	129	41	61	36	311
精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-19)	—	39	4	20	9	4	2	39
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (F20-29)	2	247	37	108	40	41	21	249
気分（感情）障害 (F30-39)	1	138	23	43	30	24	18	139
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F40-48)	1	32	8	13	5	3	3	33
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F50-59)	—	3	—	3	—	—	—	3
成人の人格及び行動の障害 (F60-69)	—	6	1	1	4	—	—	6
知的障害（精神遅滞） (F70-79)	—	24	3	12	7	1	1	24
心理的発達の障害 (F80-89)	1	8	4	—	2	1	1	9
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90-98)	—	4	—	3	—	—	1	4
詳細不明の精神障害 (F99)	—	0	—	—	—	—	—	0
神経梅毒、進行麻痺 (A52)	—	0	—	—	—	—	—	0
てんかん (G40)	—	2	—	—	1	—	1	2

表1-2 自立支援医療受給者証交付状況（精神通院）

（平成30年度）

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
受 給 者 数	3,438	492	1,434	724	446	342

※ 精神障害通院医療費公費負担は、平成18年4月1日から自立支援医療となり、申請窓口は市町村となった。

#### 2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

表2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

（平成30年度）

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
計	994	156	435	183	117	103
1 級	37	7	16	11	3	—
2 級	825	132	359	147	95	92
3 級	132	17	60	25	19	11

※ 1級：精神障害であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの

2級：精神障害であって、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの

3級：精神障害であって、日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

※ 精神障害者保健福祉手帳は、平成18年4月1日から申請窓口は市町村となった。

有効期間は2年間であり、平成30年4月1日～平成31年3月末までに交付を受けた者の総数を記載。

3 精神保健福祉相談及び訪問指導 \*住所別で計上（河北郡市…かほく市、内灘町、津幡町）

表3-1 精神保健福祉相談件数の内訳 (平成30年度)

	計		白山野々市地区		河北郡市		管外・住所不明	
	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数
電話相談		1,998		966		913		119
来所相談	113	172	76	122	29	40	8	10
訪問指導	69	242	46	130	19	101	4	11
計	182	2,412	122	1,218	48	1,054	12	140

表3-2 精神保健福祉相談の年齢別 (延件数) (平成30年度)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外・住所不明		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
0～9歳	5	3	0	-	-	-	5	3	-	-	-	-
10～19歳	117	22	4	40	15	1	73	6	3	4	1	-
20～29歳	185	19	31	129	16	17	54	2	14	2	1	-
30～39歳	643	58	37	186	35	22	395	18	10	62	5	5
40～49歳	463	31	79	317	26	57	136	4	22	10	1	-
50～59歳	333	12	46	136	8	20	183	3	22	14	1	4
60～69歳	116	12	20	78	10	6	34	2	12	4	-	2
70歳～	106	15	25	72	12	7	30	2	18	4	1	-
不明	30	0	0	8	-	-	3	-	-	19	-	-
計	1,998	172	242	966	122	130	913	40	101	119	10	11

表3-3 精神保健福祉相談の内容別 (延件数) \*複数選択 (平成30年度)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外・住所不明		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
老人精神保健	126	16	31	94	13	11	23	2	18	9	1	2
社会復帰	1,262	70	131	530	53	69	676	11	55	56	6	7
アルコール	74	3	17	30	3	2	40	-	15	4	-	-
薬物	13	1	3	2	1	-	11	-	3	-	-	-
ギャンブル	2	0	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-
思春期	65	10	1	28	7	-	34	3	1	3	-	-
心の健康づくり	426	72	62	212	45	37	184	24	23	30	3	2
うつ・うつ状態	57	2	6	37	1	5	16	1	1	4	-	-
摂食障害	13	4	0	13	4	-	-	-	-	-	-	-
てんかん	0	1	0	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ゲーム	5	1	0	-	-	-	5	1	-	-	-	-
その他	129	3	39	67	1	14	47	2	25	15	-	-
計	2,172	183	290	1,015	129	138	1,036	44	141	121	10	11

表3-4 精神保健福祉相談の診断別（延件数）\*診断名はICD10に準ずる（平成30年度）

	計		白山野々市地区		河北郡市		管外・住所不明	
	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導
症状性を含む器質性精神障害 (F0)	2	4	1	1	-	1	1	2
精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F1)	2	6	2	3	-	3	-	-
統合失調症、統合失調型障害および身体表現性障害 (F2)	15	85	7	46	5	32	3	7
気分障害 (F3)	14	49	7	16	4	33	3	-
神経症性障害、ストレス関連障害身体表現性障害 (F4)	13	10	11	3	2	7	-	-
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F5)	0	0	-	-	-	-	-	-
成人のパーソナリティおよび行動の障害 (F6)	1	0	1	-	-	-	-	-
精神遅滞 (知的障害) (F7)	1	2	-	2	1	-	-	-
心理的発達の障害 (F8)	3	5	2	3	1	2	-	-
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 (F9)	0	0	-	-	-	-	-	-
てんかん (G40)	2	0	2	-	-	-	-	-
その他	1	0	1	-	-	-	-	-
保 留	102	73	73	48	26	23	3	2
不 明	16	8	15	8	1	-	-	-
計	172	242	122	130	40	101	10	11

#### 4 地域家族会への支援

表4 地域家族会への支援状況

(平成30年度)

区分	回数	参加人数	内容
家族会(ちよに会)	7	31人	役員会、総会、家族の集い等
石家連総会	1	30人	事業の活動報告、活動案の議決、講演会

#### 5 ひきこもり社会参加復帰支援事業

思春期精神保健に関する相談指導やひきこもりの家族教室等を実施することにより、潜在するひきこもりを早期に発見し、適切な支援機関に早期につなぐことで社会参加の促進を図る。

表5-1 ひきこもりに関する相談状況

(平成30年度)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
実人数	35	18	7	26	14	5	7	3	2	2	1	—
延人数	169	38	32	92	34	18	72	3	14	5	1	—

表5-2 家族教室(ひきこもりの子どもを持つ親の会)

【定例会】会場：①は石川中央保健福祉センター、②は河北地域センターにて開催

(平成30年度)

開催回数	参加人数	日時	内容
① 9回	① 実12人 延24人	① 毎月第4月曜日 14:00~15:30	個別相談、座談会等
② 3回	② 実3人 延6人	② 奇数月第3金曜日 14:00~15:30	

【家族交流会】会場：①③は河北地域センター、②④は石川中央保健福祉センターにて開催。

(平成30年度)

開催回数	参加人数	日時	内容
4回	①③ 実7人 延8人 ②④ 実11人 延14人	①平成30年9月21日 14:00~16:00	当事者サポーターとの交流会・意見交換等
		②平成30年10月28日 14:00~16:00	当事者サポーターとの交流会・意見交換等
		③平成30年11月16日 14:00~16:00	家族サポーターとの交流会・意見交換等
		④平成30年11月29日 14:00~16:00	家族サポーターとの交流会・意見交換等

表5-3 ひきこもり対策ネットワーク会議の開催状況

ひきこもり当事者及び家族に対し、各支援機関が対象者の相談内容に応じた適切な支援を行うことができるように、保健・福祉・教育・就労支援等における現状や支援内容について情報交換を行い、各機関相互の連携体制の構築と強化を図る。

(平成30年度)

月日	参集者	参加人数	内容
平成31年1月15日	精神科医療機関、社会福祉協議会、相談支援事業所、管内市町、民間の支援団体、発達障害支援センター、こころの健康センター	29人	(1) 講義「ひきこもり支援について」 (2) 石川中央保健福祉センターで行っているひきこもり支援、相談状況について (3) 意見交換

## 6 精神障害者地域生活支援事業

精神に障害がある方が自分らしく暮らすことができるよう、障害保健福祉圏域ごとの協議の場を通じて、関係機関が連携できる体制を構築し、地域生活支援体制の整備に資する取り組みを推進する。

また、支援活動を行うにあたり、地域で生活する当事者をピアサポーターとして県で養成し、対象者や家族に対し、地域移行に関する相談・助言を行う。

表6-1 精神障害者地域生活支援事業連絡会の開催状況

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉、介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域生活支援体制の整備を目指す必要がある。そのため、圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、地域援助事業者、市町などとの重層的な連携による支援体制の構築を目指す。

(平成30年度)

月日	参集者	参加人数	内容
平成30年8月9日	金沢保護観察所、精神科医療機関、相談支援事業所、管内市町、金沢市、県障害保健福祉課、広域アドバイザー、県密着アドバイザー	36人	(1) 石川県における精神障害者の地域移行の状況・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について (2) 実践報告「長期入院患者の退院支援について」 (3) グループワーク
平成31年1月31日	精神科医療機関、相談支援事業所、管内市町、金沢市、県障害保健福祉課、県密着アドバイザー	46人	(1) 「地域生活支援と人材育成について」 (2) グループワーク

表6-2 ピアサポーターの活動実績

登録者数 10名（新規 3名）

(平成30年度)

活動内容	活動人数	活動件数
入院患者との交流会・体験談発表	2人	1件
家族との交流会・体験談発表	1人	1件

## 7 自殺防止対策事業

自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、「自殺対策行動計画」に基づき、各重点施策等を実施し、自殺者数の減少等を図る。

表7-1 自殺対策地域連携会議の開催状況

(平成30年度)

月日	参集者	参加人数	内容
平成30年6月11日	管内の市町精神保健福祉担当者	15人	(1) 石川中央保健福祉センターの精神保健福祉事業について (2) 自殺防止対策事業について (3) 自殺対策計画について (4) 意見交換
平成30年11月22日	管内の消防、精神科病院、救急告示病院、精神科基幹病院、社会福祉協議会、管内市町、県障害保健福祉課	33人	(1) 講義「石川県の自殺対策について」「精神科救急医療システムについて」 (2) 管内市町の自殺者数の推移と概況、当センターでの取り組み状況について (3) 管内関係機関における自殺対策の取り組み状況についてグループワーク

表7-2 ゲートキーパー等養成事業の開催状況

各種相談担当者のみならず、広く一般の人々に自殺予防に関する理解を深め、身近な人の異変に気づき、声をかけ、話を聴き、適切な相談先を紹介できる人（ゲートキーパー）を養成する。

(平成30年度)

日時	対象者	内容	参加人数
平成30年7月25日	サンコー企画株式会社社員	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	20人

表7-3 若い世代の心の健康づくり事業の開催状況

協力が得られた大学や専門学校等の学生に対し、ゲートキーパー養成講座やキャンペーンを実施し、普及啓発と自殺予防の人材育成を図る。

(平成30年度)

月日	対象者	内容	参加人数
平成30年4月27日	県立看護大学実習生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	34人
平成30年7月4日	金沢大学、金沢医科大学実習生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	2人
平成30年7月9日	金沢大学、金沢医科大学実習生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	27人
平成30年8月28日	仁愛大学実習生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	2人
平成30年10月22日	金沢医科大学実習生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	2人
平成30年11月12日	県立大学生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	138人

表7-4 うつ・依存症家族教室事業の開催状況

自殺リスクの高いうつ病や、依存症者の家族や支援者等に対し、正しい知識を普及する。また、家族自身の心身の健康を守るための方法なども学び、家族等への支援を通してうつ・依存症者への支援を図る。

(平成30年度)

月日	名称	参集者	参加人数	内容
平成30年 12月14日	うつ病家族教室	うつ病が疑われる方の家族、支援者 (河北郡市地区)	13人	・講話「うつ病への理解と対応 ～治療や支援について～」 講師 石川県立高松病院 精神科医 山下 真氏 精神保健福祉士 深田 晃子氏 ・質疑応答・意見交換会
平成31年 1月19日	アルコール依存症 家族教室	アルコール問題を抱えている方の家族、支援者	8人	・講義「いま私たちに出来ること ～アルコール依存症とその回復～」 講師 岡部診療所 ソーシャルワーカー 西念 奈津江氏 ・質疑応答・意見交換会
平成31年 2月14日	うつ病家族教室	うつ病が疑われる方の家族、支援者 (白山野々市地区)	15人	・講話「うつ病への理解と対応 ～治療や支援について～」 講師 ときわ病院 精神科医 向 奈美氏 精神保健福祉士 西田 久美子氏 ・質疑応答・意見交換会

## 8 関係機関との連携

表8 関係機関との連携、会議等への参加状況

(平成30年度)

会議名	回数	参加 延人数	主催	内容
石川県自立支援協議会	1	69	県関係	石川県自立支援協議会の相談支援体制の整備に向けた活動について意見交換
白山市共生の街づくり推進協議会全体会	1	50	白山市	白山市における障害福祉全体の充実に関する検討
白山市共生の街づくり推進協議会 すまい部会・宅建協会との情報交換	4	55	白山市	白山市における障害者のすまいのあり方に関する検討
白山市障害者差別解消のまちづくり支援協議会	2	37	白山市	白山市における障害者福祉の充実に向けた検討
白山市地域移行・地域定着支援会議	3	44	白山市	白山市における精神障害者の地域移行・地域定着支援に関する検討
白山市健康づくり推進協議会	3	67	白山市	白山市における健康づくりの推進及び自殺対策行動計画策定に関する検討
野々市市障害者自立支援協議会	1	19	野々市市	野々市市における障害福祉全体の充実に関する検討
野々市市虐待防止等協議会 障害者虐待防止部会	1	12	野々市市	野々市市における障害者虐待防止に関する検討
野々市市虐待防止等協議会	1	32	野々市市	野々市市における虐待防止に関する検討
野々市市障害者基本計画等策定委員会	2	48	野々市市	野々市市における障害者基本計画及び障害福祉計画の策定に関する検討
野々市市自殺対策協議会	2	30	野々市市	野々市市における自殺対策計画策定に関する検討
かほく市地域自立支援協議会全体会	2	46	かほく市	かほく市における障害福祉全体の充実に関する検討
かほく市地域自立支援協議会運営会議	3	42	かほく市	かほく市における障害福祉全体の充実に関する検討
かほく市地域包括ケアシステムの学習・準備会	4	55	かほく市	かほく市における地域包括ケアシステムに関する検討
かほく市高齢者及び障害者虐待防止協議会	2	39	かほく市	かほく市における高齢者及び障害者虐待防止に関する検討
かほく市自殺対策計画策定委員会	3	40	かほく市	かほく市における自殺対策計画策定に関する検討
津幡町障害者等自立支援協議会 運営会議	3	37	津幡町	津幡町における障害者福祉計画及び自殺対策計画の策定に関する検討
津幡町自立支援協議会全体会	3	63	津幡町	津幡町における障害者福祉全体の充実に関する検討
内灘町自立支援協議会全体会	1	15	内灘町	内灘町における障害者福祉の充実に関するの検討
内灘町自殺対策計画策定委員会	3	35	内灘町	内灘町における自殺対策計画策定に関する検討
石川県医療観察制度運営連絡協議会	1	26	金沢保護観察所	医療観察法制度の実績報告と意見交換
自傷行為・自殺未遂者支援のための連携事業についての連絡会	1	7	公立松任石川中央病院	連携事業についての報告と意見交換
MJ カンファレンス	4	121	松原病院 城北病院	身体科と精神科の連携に関する検討・意見交換
アルコール関連問題地域連絡会	1	28	高松病院	アルコール関連問題についての検討・意見交換

事例検討会	5	43	保健所 市町	市町とケースを共有し支援方法を検討
ケース会議	13	111	市町	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	23	208	病院	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	1	9	社協	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	10	86	相談支援事業所	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	9	120	金沢保護観察所	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	1	9	金沢刑務所	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	5	45	当センター 地域支援課	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討

## 第4節 難病

### 1 相談指導事業

表1 患者、家族のつどい・相談会・研修会（関係者研修会も含む）

日時及び会場	テーマ・内容	参加者及び出務者数
炎症性腸疾患 患者・家族のつどい 平成30年11月10日（土） 10:00～12:00 石川県地場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 「炎症性腸疾患の食事について」 講師：金沢大学附属病院 栄養管理部 管理栄養士 中田 裕佳 氏</li> <li>・活動紹介 いしかわIBD結の会 報告者：いしかわIBD結の会 会員</li> <li>・質疑応答・交流会</li> </ul>	(参加者) 本人 2人 家族 5人 関係者 1人 計 8人
難病（筋萎縮性側索硬化症） 支援者研修会 平成30年11月30日（金） 13:30～16:00 リハビリテーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 「筋萎縮性側索硬化症 ALSについて」 講師：独立行政法人 医王病院 神経内科医 高橋 和也 氏</li> <li>・講演 「ALS在宅療養患者・家族への支援について」 講師：独立行政法人 医王病院 難病認定看護師 吉田 早苗 氏</li> <li>・質疑応答</li> </ul>	(参加者) 支援関係者 27人

2 面接相談・電話相談

表2 相談実施状況

疾患名	相談延件数 ( )内は 実人数	受給者 証所持 者数	指導内容(重複可)													平成30年度(単位:件)													
			申 医 病 精 福 就 リ 食 歯 患 所 等 療 状 病 的 社 労 ハ 事 者 の 請 病 支 制 学 ビ 業 科 等 他 の 相 談 機 関 市 保 所 来 電 の 機 関 所 他 談 談													相 談 機 関 市 保 所 来 電 の 機 関 所 他 談 談													
			申 等	医 療	病 状	精 神	福 祉	就 業	リ ハ ビ リ タ シ ョ ン	食 事	歯 科	患 者	そ の 他	本 家 族	そ の 他	医 師	作 業	保 険	栄 養	事 務	そ の 他	本 人	医 療	介 護 保 険 関 連 事 業 所	市 村	保 所	そ の 他	来 談	電 話
総計	5619 (2243)	1903	5174	350	497	264	223	33	214	211	7	13	424	3231	2128	639	1	3007	2016	643	4655	284	94	41	489	57	3770	1849	
1 球脊髄性筋萎縮症	6 (3)	3	6	1	1					1				1	3	3		3	4		4	2					6		
2 筋萎縮性側索硬化症	252 (22)	19	76	131	188	94	73	2	80	87			2	137	26	97	142		236	16	2	57	15	29	5	139	7	42	210
3 脊髄性筋萎縮症	1 (1)	1	1											1							1	1						1	
4 原発性側索硬化症	5 (1)	1	5		1		1							1	3	5			1		4	5						5	
5 進行性核上性麻痺	122 (41)	36	93	19	25	16	14		23	2				27	13	89	27		67	45	13	83	11	4	1	21	2	73	49
6 パーキンソン病	508 (234)	191	494	16	27	8	22	2	7	2			1	15	157	366	47		259	183	75	446	32	12	13	5	386	122	
7 大脳皮質基底核変性症	38 (14)	12	37	2	2	2	1		1	1				1	29	9			21	13	4	27	3	1	3	4	23	15	
8 ハンチントン病	5 (3)	2	5		1		1			1				1	5				2	2	1	4	1					5	
9 神経有棘赤血球症																													
10 シャルコー・マリー・トゥース病	4 (1)		3	1	1									3		1			4			3					1	1	3
11 重症筋無力症	70 (36)	35	69		3		1						2	50	20	5			36	24	10	64	1			2	3	56	14
12 先天性筋無力症候群																													
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎	120 (49)	47	114	1	2		13							5	60	59	10		59	46	16	105	3		2	8	2	83	37
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/ 多発性運動ニューロパチー	27 (14)	14	27		2		1							1	20	9			12	11	4	26	1					22	5
15 封入体筋炎	4 (1)	1	4													4			2		2	4						4	
16 クロウ・深瀬症候群																													
17 多系統萎縮症	79 (31)	25	76	1	2	1			1	1				4	28	55	2		35	37	10	68	7	1		3		60	19
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	239 (45)	38	118	111	131	102	38	1	92	69				117	53	81	113		200	34	10	92	6	20	3	115	3	75	164
19 ライツゾーム病	13 (7)	7	13		1									1	7	6	1		10	3		13						13	
20 副腎白質ジストロフィー			1																										
21 ミトコンドリア病	1 (1)	1	1											1	1				1			1						1	
22 もやもや病	80 (37)	30	74	1	3	1	2	4			1	1	1	7	35	45	8		46	22	12	68	8	1		2	1	57	23
23 プリオン病	24 (3)	1	24	2	2	2				2				2	3	16	7		9	16		15	4		1	4	14	10	
24 亜急性硬化性全脳炎																													
25 進行性多巣性白質脳症																													
26 HTLV-1関連脊髄症																													
27 特発性基底核石灰化症																													
28 全身性アミロイドーシス	19 (11)	8	19											11	9				3	11	5	18	1				15	4	
29 ウルリッヒ病																													
30 遠位型ミオパチー																													
31 ベスレムミオパチー																													
32 自己食空胞性ミオパチー																													
33 シュワルツ・ヤンベル症候群																													
34 神経線維腫症	7 (3)	3	7											4	4				3	4		7						7	
35 天疱瘡	17 (9)	7	17											13	4				6	9	2	17						14	3
36 表皮水疱症																													
37 膿疱性乾癬(汎発型)	10 (6)	4	10											5	5				4	5	1	9	1					10	
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群																													
39 中毒性表皮壊死症																													
40 高安動脈炎	30 (16)	13	30											14	17	1			11	15	4	28				2		24	6
41 巨細胞性動脈炎	8 (2)	8		1										1	1	7			7		1	7	1					7	1
42 結節性多発動脈炎	33 (13)	10	33											19	14	2			18	10	5	30			2	1		22	11
43 顕微鏡的多発血管炎	44 (23)	20	40		2					1				6	15	26	4		14	24	6	36	4			4		34	10
44 多発血管炎性肉芽腫症	6 (3)	2	6											3	3				1	2	3	6					4	2	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20 (5)	4	18		1									2	14	3	3		3	8	9	17				3		13	7
46 悪性関節リウマチ	10 (5)	5	10		1									9	1				7	3		10					9	1	
47 バージャー病	35 (18)	16	35							1				28	6	4			17	9	9	31		1	1	2	30	5	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	6 (2)	1	6											3	2	1			5	1		3	1			2		2	4
49 全身性エリテマトーデス	271 (124)	117	267		2		1	3		1	1	1	4	200	68	22			130	123	18	232	9		29	1	201	70	
50 皮膚筋炎/多発性筋炎	99 (48)	49	97		1									3	67	38	3		42	46	12	93	4			2		84	15
51 全身性強皮症	160 (83)	74	158	1	5	1	1	1					1	5	140	33	3		82	63	16	151	3		1	4	1	129	31

疾患名	相談延件数 ( )内は 実人数	受給者 証所持 者数	指導内容 (重複可)																応接人員別										出務者別 (延人員)										相談契機										相談件数
			申 等	医 療	病 状	精 神	福 祉	就 業	リ ハ ビ リ	食 事	歯 科	患 者	そ の 他	本 人	家 族	そ の 他	医 師	作 業 法	保 健 士	栄 養 士	事 務 担 当 者	そ の 他	本 人	医 療 機 関	介 護 保 険 開 連 事 業 所	市 町 村	保 健 所	そ の 他	来 所	電 話 相 談																			
52 混合性結合組織病	50 (23)	23	50	1	1							1	36	11	3		21			28	1	46					4	42	8																				
53 シェーグレン症候群	81 (40)	34	80	1	2	1				1		72	13	4		34			36	11	73	5	1		2		63	18																					
54 成人スチル病	41 (9)	8	41	1	1	1						2	24	17			22			12	7	40	1				23	18																					
55 再発性多発軟骨炎	2 (1)	1	2									1	2				1			1		2						2																					
56 ベーチェット病	72 (35)	33	64	3	2	9	1	5		1		54	15	7		38			26	8	60	5	1	2	4		52	20																					
57 特発性拡張型心筋症	100 (45)	38	100	1	1						1	74	26	9		54			33	13	87	1	4	1	6	1	78	22																					
58 肥大型心筋症	37 (11)	7	37	1	1	1					1	28	8	3		21			10	7	32	3		2			22	15																					
59 拘束型心筋症																																																	
60 再生不良性貧血	71 (33)	24	69		3	2	1					40	28	5		32			33	6	61	6		1	1	2	57	14																					
61 自己免疫性溶血性貧血	16 (3)	3	16									5	11	3		3			3	10	14		3				8	8																					
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	3 (2)	1	3									3				2				1	3						2	1																					
63 特発性血小板減少性紫斑病	97 (50)	37	97		1							68	43			40			46	13	88	6			2	1	79	18																					
64 血栓性血小板減少性紫斑病	1 (1)	1	1									1	1			1					1							1																					
65 原発性免疫不全症候群	11 (4)	4	11									7	4			5			5	1	11						9	2																					
66 IgA 腎症	65 (32)	25	65									52	14	3		30			27	8	56	5		3	1		53	12																					
67 多発性嚢胞腎	41 (25)	23	41									32	12			22			16	5	36	4			1		35	6																					
68 黄色靭帯骨化症	29 (17)	14	29			1	2				2	1	16	19		18			9	3	27	2					24	5																					
69 後縦靭帯骨化症	197 (93)	81	191	5	12						7	114	87	15		89			89	19	175	10		1	8	3	149	48																					
70 広範脊柱管狭窄症	1 (1)		1													1											1	1																					
71 特発性大腿骨頭壊死症	55 (30)	27	55									37	23			24			25	6	51	4					50	5																					
72 下垂体性ADH分泌異常症	21 (6)	6	20								1	10	5	6		16			4	1	16	1			4		8	13																					
73 下垂体性TSH分泌亢進症																																																	
74 下垂体性PRL分泌亢進症	8 (5)	6	8								3	8				4			4	1	8						8																						
75 クッシング病	9 (3)	2	9	1								6	4			3			5	1	9						9																						
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1 (1)	1	1									1							1	1							1																						
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	32 (13)	13	31			1						30	3	1		13			14	5	32						19	13																					
78 下垂体前葉機能低下症	102 (50)	45	102			1						57	41	12		61			30	12	88	5		1	7	1	75	27																					
79 家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)																																																	
80 甲状腺ホルモン不応症																																																	
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	5 (4)	2	5									2	4			2			3		5						4	1																					
82 先天性副腎低形成症																																																	
83 アジソン病																																																	
84 サルコイドーシス	122 (56)	48	122		4	3		3			3	80	41	10		64			54	4	109	1			8	4	94	28																					
85 特発性間質性肺炎	99 (39)	31	98	4	4	2	1	1			1	43	51	13		54			31	15	71	19			8	1	60	39																					
86 肺動脈性肺高血圧症	41 (14)	12	37	9	9	9	1	4	1		9	20	25			23			11	9	35	1			5		28	13																					
87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症																																																	
88 慢性血栓性肺高血圧症	25 (10)	10	25									12	9	6		11			8	6	21		4				18	7																					
89 リンパ管筋腫症	2 (1)		2									2							2		2						2																						
90 網膜色素変性症	50 (27)	27	50		2	1						31	22	4		24			18	8	44	6					41	9																					
91 バッド・キアリ症候群	3 (2)	1	3									3				2			1		3						1	2																					
92 特発性門脈圧亢進症	17 (1)		17									5	5	7		16			1		6				6	5	17																						
93 原発性胆汁性肝硬変	148 (59)	48	147								2	1	126	28	1		61			69	18	140	5		3		108	40																					
94 原発性硬化性胆管炎	3 (2)	1	3									3				2			1		2	1					3																						
95 自己免疫性肝炎	19 (10)	7	19									14	7			7			12		16	3					18	1																					
96 クローン病	328 (137)	126	326		4	3	3	2		1	3	235	83	19		171			119	39	299	7			20	2	251	77																					
97 潰瘍性大腸炎	506 (273)	218	505	1	5	1	3	5	1	2	1	3	408	107	19	1	220			227	60	467	23		1	12	3	419	87																				
98 好酸球性消化管疾患																																																	
99 慢性特発性偽性腸閉塞症																																																	
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症																																																	
101 腸管神経節細胞減少症																																																	
102 ルピンシュタイン・レイビ症候群																																																	
103 CFC症候群																																																	
104 コステロ症候群																																																	









3 訪問指導

表4 訪問指導実施状況

平成30年度（単位：件）

疾患番号	疾患名	訪問指導 延件数 ( )内は 実人数	指導内容（重複可）											応接人員別				出務者別（延人員）					訪問指導経路					件数	
			申 請 等	医 療 服 薬	病 氣 病 状	精 神 的 支 援	福 祉 制 度	就 労 学 習	リ ハ ビ リ テ ィ ン グ	食 事 栄 養	歯 科	患 者 会	そ の 他	本 人	家 族	そ の 他	医 師	作 業 法 士	保 健 士	栄 養 士	事 務 担 当 者	そ の 他	本 人	医 療 機 関	介 護 保 険 関 連 事 業 所	市 町 村	保 健 所		そ の 他
	総計	92 (14)	6	82	89	62	25	1	56	50	0	81	75	42	10	0	92			0	0						89	2	44
2	筋萎縮性側索硬化症	41 (8)	5	32	39	21	16		17	23		32	31	13	8		41					1					38	2	14
5	進行性核上性麻痺	2 (1)		2	2	2	1		2	1		2	2				2										2		2
6	パーキンソン病	1 (1)	1	1	1		1		1			1	1	1			1										1		
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	47 (3)		46	46	38	6	0	36	25		45	40	27	2		47										47		27
113	筋ジストロフィー	1 (1)		1	1	1	1	1		1		1	1	1			1										1		1

#### 4 事例検討会

表5 事例検討会

平成30年度（単位：人）

開催日時	参加者数	参加者内訳										テーマ・内容
		専門医療機関	地域医療機関	介護保険関連	訪問看護ステーション	市町村	難病相談支援センター	セリハビリティテーション	その他の	本人・家族	保健福祉センター	
平成30年5月31日 16:15～18:00	5	-	-	2	-	-	1	1	-	-	1	神経難病患者の在宅療養におけるコミュニケーション手段の検討
平成30年7月18日 16:30～17:30	6	-	-	-	-	1	-	-	2	2	1	神経難病患者の在宅療養の検討
平成30年10月2日 13:30～14:10	8	-	-	-	1	-	-	-	4	2	1	神経難病患者の在宅療養の検討
平成30年10月17日 10:00～10:40	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	神経難病患者の退院時ケア会議に向けた情報共有
平成30年10月31日 17:00～18:30	14	8	-	2	1	-	-	-	-	2	1	神経難病患者の退院時ケア会議に向けた情報共有
平成30年12月4日 14:30～14:50	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	神経難病患者の退院時ケア会議に向けた情報共有
平成30年12月18日 15:00～16:00	17	7	-	5	2	-	-	-	-	2	1	神経難病患者の退院時ケア会議
平成30年12月18日 16:10～17:10	11	1	-	5	2	-	-	-	-	2	1	神経難病患者の在宅サービス担当者会議
平成31年2月28日 16:10～17:10	7	-	-	4	-	-	-	-	-	2	1	神経難病患者の在宅サービス担当者会議
平成31年3月7日 16:10～17:10	6	-	-	3	2	-	-	-	-	-	1	神経難病患者の在宅サービス担当者会議

## 第5節 健康増進

### 1 健康教育

表1-1 健康教育実施状況

(平成30年度)

内容 回数・人員	感染症	再掲 エイズ	精神	難病	母子	成人・老人	栄養・健康増進	歯科保健	医事・薬事	食品衛生	環境	その他	総計	
													再掲	地区衛生組織
													回数(回)	
回数(回)	14	3	33	2	8	7	26	1	4	30	2	10	137	6
延人数(人)	639	313	1,704	35	23	496	805	50	357	2,950	100	312	7,471	250

表1-2 コミュニティFM局「えふえむ・エヌ・ワン」出演状況(毎月第3水曜日)

年 月	テ ー マ
平成30年 4月	いしかわヘルシー&デリシャスメニュー
5月	歯周疾患について
6月	薬物乱用防止
7月	産業廃棄物について
8月	食品衛生
9月	心の健康(自殺予防)
10月	薬の正しい使い方
11月	エイズ予防
12月	感染症予防(ノロウイルス・インフルエンザ)
平成31年 1月	ロコモティブシンドローム
2月	民泊について
3月	メンタルヘルス

2 栄養改善

(1) 個別指導（巡回指導）

表1 特定給食施設等栄養士等配置状況及び指導状況

(平成30年度)

施設区分	管理栄養士のみ いる施設			管理栄養士・栄養士 どちらもある施設			栄養士のみ いる施設			栄養士無 施設			合計									
	施設数	指導数	指導率(%)	施設数	指導数	指導率(%)	施設数	指導数	指導率(%)	施設数	指導数	指導率(%)	施設数	指導数	指導率(%)	管理栄養士数	栄養士数					
指定施設	学 校			1			2	3					1			2	3					
	病 院			3	3	100.0	29	6					3	3	100.0	29	6					
	介護老人保健施設																					
	老人福祉施設																					
	児童福祉施設																					
	社会福祉施設																					
	事業所			1			1	2						1		1	2					
	寄宿舎																					
	矯正施設																					
	自衛隊																					
一般給食センター				1			1	5					1		1	5						
その他																						
計	0	0	0.0	0	6	3	50.0	33	16	0	0	0.0	0	0	0	6	3	50.0	33	16		
1日370食以上又は1日750食以上	学 校	8	2	25.0	9	2		4	3	10	3	30.0	11	8	1	12.5	28	6	21.4	13	14	
	病 院																					
	介護老人保健施設																					
	老人福祉施設																					
	児童福祉施設																					
	社会福祉施設																					
	事業所								2	0.0	2	2		4			2					
	寄宿舎																					
	矯正施設																					
	自衛隊																					
一般給食センター								3	1	33.3	5		3	1	33.3		5					
その他																						
計	8	2	25.0	9	2	0	0.0	4	3	15	4	26.7	18	10	1	10.0	35	7	20.0	13	21	
1日1200食以上又は1日2500食以上	学 校	4			6	2		2	2	5	2	40.0	17	13	7	53.8	24	9	37.5	8	19	
	病 院	1	1	100.0	3	4	4	100.0	13	15							5	5	100.0	16	15	
	介護老人保健施設	2	2	100.0	3	3	1	33.3	5	5							5	3	60.0	8	5	
	老人福祉施設	2	4	200.0	2	11			16	17	1	0	3				14	4	28.6	18	20	
	児童福祉施設	3	1	33.3	4	3			3	5	19	3	15.8	27	29	11	37.9	54	15	27.8	7	32
	社会福祉施設																					
	事業所	1			1						4	2	50.0	4	5	2	40.0	10	4	40.0	1	4
	寄宿舎									1			2				1				2	
	矯正施設																					
	自衛隊																					
一般給食センター																						
その他										1			3				1				3	
計	13	8	61.5	19	23	5	21.7	39	44	31	7	22.6	56	47	20	42.6	114	40	35.1	58	100	
小規模特定給食施設等	学 校	1	1	100.0	1									4			5	1	20.0	1		
	病 院	2	2	100.0	6	4	4	100.0	5	7							6	6	100.0	11	7	
	介護老人保健施設				1				1	2							1		0.0	1	2	
	老人福祉施設	3	1	33.3	5	4	2	50.0	5	9	13	5	38.5	17	13	3	23.1	33	11	33.3	10	26
	児童福祉施設	2	1	50.0	2						4	1	25.0	5	11	3	27.3	17	5	29.4	2	5
	社会福祉施設				1	1	100.0	1	3	4		0.0	4	1			6	1	16.7	1	8	
	事業所	1		0.0	1	1	1	100.0	1	5				6	2	33.3	8	3	37.5	2	5	
	寄宿舎																					
	矯正施設																					
	自衛隊																					
一般給食センター																						
その他	3	2	66.7	4	2	2	100.0	3	2	6	2	33.3	8	9	3	33.3	20	9	50.0	6	10	
計	12	7	58.3	19	13	10	76.9	16	28	27	8	29.6	34	44	11	25.0	96	36	37.5	34	63	
総 計	33	17	51.5	47	44	18	40.9	92	91	73	19	26.0	108	101	32	31.7	251	86	34.3	138	200	

\*管理栄養士又は栄養士は、常勤職員であるものを計上。

\*給食形態の直営又は委託の別を問わず、当該施設に管理栄養士又は栄養士が配置されている場合は、その員数を計上。

### 3 健康増進

#### (1) 健康づくり

##### ア 地区組織への支援

- ① 石川中央食生活改善推進協議会総会及び研修会（平成30年4月26日、参加者70人）
- ② 石川中央食生活改善推進協議会研修会（平成30年11月19日、参加者65人）
- ③ 石川中央食生活改善推進協議会役員会（年2回、参加者延べ20人）

##### イ ロコモ予防普及事業

###### (ア) ロコモ予防出前講座

- ①JA石川かほく助け合い組織 につこり百彩会（参加者 26人）

日時：平成30年7月25日

内容：「ロコモチェック」と「ロコモーショントレーニング」～健康寿命を延ばそう！！～

講師：石川県リハビリテーションセンター理学療法士 平木 清喜氏

- ②株式会社表組（参加者 128名）

日時：平成30年8月10日

内容：「ロコモティブシンドロームについて」

講師：健康運動指導士 大崎 正則氏

###### (イ) ロコモ予防普及キャンペーン

- ①イオン松任店（参加者 テスト約50人 チラシ80人）

日時：平成30年10月5・6日

内容：ロコモテスト、体組成チェック、野菜クイズ、チラシ配布等

- ②イオン御経塚ショッピングセンター（参加者 テスト 約60名、チラシ80名）

日時：平成30年10月7日

内容：ロコモテスト、体組成チェック、野菜クイズ、チラシ配布等

###### (ウ) ロコモ予防の普及啓発

SWS 西日本宇ノ気工場（参加者 テスト約100名、チラシ 150名）

日時：平成31年2月15日

内容：ロコモテスト、チラシ配布

##### ウ 歯と口腔の健康づくり支援事業

###### (ア) 市町歯周病予防対策研修会（参加者 13名）

日時：平成30年9月6日

内容：①市町歯周病予防対策研修会

講演「保険者と地元歯科医師の連携による歯科口腔保健の取り組み」

講師：島根県邑南町役場保健課 土崎 しのぶ氏

②市町歯科保健担当者連絡会

###### (イ) 歯と口腔の健康づくり推進会議（参加者 14名）

日時：平成31年1月24日

検討内容：第2次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画について

糖尿病治療における歯科医とかかりつけ医の連携について 等

エ 働く世代の健康応援事業

表1 健康づくり優良企業（知事表彰）

（平成30年度）

企業名	取組内容
SWS 西日本株式会社 宇ノ気工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期健診と健診後の保健指導の徹底</li> <li>・ メンタルヘルスケア講習会の開催</li> <li>・ しゃがみこみ作業禁止活動</li> <li>・ 健康まつりの開催</li> </ul>
株式会社金沢シール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期健診と健診後の保健指導の徹底</li> <li>・ 受動喫煙の防止</li> <li>・ レクリエーションクラブへの支援</li> <li>・ 働き方改革の推進</li> </ul>
共和産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期健診と健診後の保健指導の徹底</li> <li>・ 感染症予防への取り組み</li> <li>・ 運動機会の増進に向けた取り組み</li> <li>・ メンタルヘルスへの取り組み</li> </ul>
PF 保険サービス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動機会の増進に向けた取り組み</li> <li>・ 定期健診と健診後の保健指導の徹底</li> </ul>

表2 健康づくりに取り組む企業等への支援状況

（平成30年度）

企業名	主な支援の内容	日時	参加人数
株式会社ケイエスデイ	健康診断の結果の見方・活かし方	平成30年6月6日	10名
ワイズグループ	石川県の健診結果と生活習慣の背景	平成30年6月13日	15名
三谷産業コンストラクションズ 株式会社	熱中症予防について	平成30年6月19日	80名
軽費老人ホーム百鶴荘	食中毒予防・熱中症予防について	平成30年6月27日	80名
サンコー企画	職員のメンタルヘルスについて	平成30年7月25日	40名
千代野建設	健康診断の結果の見方・活かし方	平成30年9月19日	15名
小林太郎鉄工所	がん予防	平成30年9月21日	35名
NPO 法人プウブ	職場の健康づくり～健康づくりのための 睡眠指針、野菜1品プラス運動～	平成30年10月7日	15名
北陸計器工業株式会社 (①本社、②森島工場)	健康診断の結果の見方・活かし方	平成30年11月10日	①51名 ②25名
株式会社オハラ	がん予防	平成30年11月10日	20名
木津町女性会	いしかわ健康フロンティア戦略 ヘルシー&デリシャスメニューについて	平成30年11月11日	19名
傾聴ボランティア聴蝶	ヘルシーでデリシャスな健康づくりについて	平成31年3月2日	14名

オ 「健康づくり応援の店」 推進事業

表3 「健康づくり応援の店」 登録店舗

(平成30年度)

市町	登録数	登録店舗名
かほく市	5	レストランカチューナ、ぶどうの木、 (社) 四恩会ライフクリエートかほく喫茶「ハニーホーム」、心の市場、 ごっつお庵 土田屋
白山市	8	福喜寿司、河内地場産業センター、食彩館せせらぎ、お菓子の工房クルトン、 焼肉2000ねん、麵処 こよみ、おそば屋 小幸、カフェプアップ
野々市市	3	ベトナム屋台めしむサク、カレーハウス Cook、サブウェイ野々市若松店
津幡町	1	GRILLせど
内灘町	3	和乃食はねや、インド料理るびなばいざべい、はづ貴
合計	20	

(2) 食育の推進

①地域版食育推進計画 1 団体 (H30 年度活動団体)

地域における健全な食生活の実施を図るため、地域の各種団体・機関等 (町内会、公民館、女性団体、PTA 等) が地域住民等に向けた食育に関する計画を地域版食育推進計画という。

表 4 地域版食育推進計画 (平成 30 年度)

団体名	所在地
特定非営利活動法人 学童会つるぎ	白山市

②子ども食育応援団 2 団体 (学童会つるぎに協力している団体)

地域版食育推進計画に基づく取組に協力する事業所等で、特に子どもに対する食育の推進に取り組む事業所等を子ども食育応援団という。

表 5 子ども食育応援団 (平成 30 年度)

団体名	所在地
白山農業協同組合	白山市
農事組合法人井ログリーンワークス	白山市

③いしかわ食育手伝い隊

地域で行われる食育活動を手伝うことができる事業所や個人をいしかわ食育手伝い隊という。

表 6 いしかわ食育手伝い隊 (団体) (平成 30 年度)

団体名	所在地	協力内容
石川県酪農業協同組合	白山市	酪農体験、牛乳の生産過程の見学
白山市食生活改善推進協議会松任支部	白山市	講師派遣、調理体験
白山市食生活改善推進協議会美川支部	白山市	講師派遣、調理体験
白山農業協同組合	白山市	調理体験、農業 (営農) 体験
株式会社ヤクルト北陸	野々市市	講師派遣、食育講座等の開催
JA 金沢市青壮年部	金沢市	食育講座等の開催
石川県保険医協会	金沢市	講師派遣、食育講座等の開催
ミッション食育グループ	金沢市	調理体験支援、食育講座の開催
大塚製薬株式会社	金沢市	食育講座の開催
石川県漁業協同組合	金沢市	講師派遣、食育講座の開催

表7 いしかわ食育手伝い隊（個人）

（平成30年度）

氏名	所在地	協力内容
Aさん	白山市	講師派遣、調理体験
Bさん	白山市	魚料理の調理体験
Cさん	津幡町	田畑の提供、栽培・収穫体験
Dさん	津幡町	田畑の提供や栽培、収穫体験支援

## ④いしかわ食育コーディネーター

地域の食育を推進していくため、地域版食育推進計画の立案の助言や活動の支援を行う。

表8 いしかわ食育コーディネーター(平成30年度)

市町	人数
かほく市	2人
白山市	1人
野々市市	1人
津幡町	1人
内灘町	1人

## 第6節 骨髄バンク

白血病、重症再生不良貧血など血液の病気は非常に治りにくい病気であるが、「骨髄移植」により多くの患者が健康を取り戻せるようになった。

骨髄移植を行うためには、患者と骨髄提供者（ドナー）との白血球の型（HLA）が一致しなければならないが、このHLAが一致する確率は非常に小さく（非血縁者間では数百人から数万人に1人の割合）、一般の方々の善意により多くの方にドナー登録をしていただくことが必要になっている。

骨髄バンクでは、当面の目標として、全国で30万人のドナー登録を目指してきたが、平成20年3月末に全国目標を達成した。

目標は達成したが、今後もできるだけ多くの方に登録していただくため、当保健福祉センターにおいても骨髄バンク相談や、移動献血会場でのドナー登録受付を実施していく。

表1 骨髄提供希望者（ドナー）登録状況

（人）

年度	骨髄バンク相談	移動献血（併行）	休日集団登録 （白山市健康まつり）	計
平成20年度	2	50	8	60
平成21年度	3	37	11	51
平成22年度	1	68	3	72
平成23年度	-	62	-	62
平成24年度		4	4	8
平成25年度	1	7	-	8
平成26年度	-	-	-	-
平成27年度	-	-	3	3
平成28年度	-	2	1	3
平成29年度	-	22	4	26
平成30年度	-	4	1	5
累計登録者数 （平成29年3月末現在）	977人			

## 第7節 被爆者健康診断

被爆者健康診断は、視診・問診・聴診・打診及び触診による検査、CRP検査、血球数計算、血色素検査、尿検査、血圧測定を行っている。また、医師が必要と認めた場合はAST、ALT及びγ-GTP検査法による肝臓機能検査、ヘモグロビンA1c検査を行っている。

当所の健康診断で要精検と判定された者については、県健康福祉部健康推進課が精密検査を実施する。

表1 被爆者健康診断実施状況

(平成30年度)

会 場	対象者数	実施日	受診者数	判 定		
				異常なし	要治療 継続	再検査
石川中央保健福祉センター	9	6月28日(木)	2	1	—	1
	9	11月30日(金)	—	—	—	—
河北地域センター	5	6月28日(木)	—	—	—	—
	4	11月30日(金)	—	—	—	—

## 第8節 アスベスト（健康相談・救済）

石綿を原因とする中皮腫、肺がんについては、石綿に暴露してから30～40年という非常に長い期間を経て発病することや、石綿が長期間にわたってわが国の経済活動全般に幅広くかつ大量に使用されてきたこと等から、個々の健康被害の原因者を特定することが困難であり、一端発症した場合には、多くの方が1,2年で亡くなられるのが実態である。

石綿による健康被害の救済制度は、石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けられた方及びそのご遺族の方で、労災補償等の対象とならない方に対し救済を図ることを目的として、「石綿による健康被害の救済に関する法律」（平成18年2月に制定）に基づき創設された。

当保健所でも救済給付受付や健康相談に応じている。

表1 石綿に係る救済給付の認定申請状況 (人)

年度		療養手当請求	特別遺族 弔慰金請求	合計申請件数	相談件数
平成21年度	石川中央	1	1	2	5
	河北地域センター	1	—	1	1
平成22年度	石川中央	2	—	2	9
	河北地域センター	—	—	—	2
平成23年度	石川中央	1	—	1	1
	河北地域センター	—	—	—	—
平成24年度	石川中央	—	—	—	1
	河北地域センター	—	—	—	—
平成25年度	石川中央	—	—	—	—
	河北地域センター	—	—	—	—
平成26年度	石川中央	—	—	—	—
	河北地域センター	—	—	—	—
平成27年度	石川中央	—	—	—	—
	河北地域センター	—	—	—	—
平成28年度	石川中央	—	—	—	—
	河北地域センター	—	—	—	—
平成29年度	石川中央	—	—	—	—
	河北地域センター	—	—	—	—
平成30年度	石川中央	—	—	—	2
	河北地域センター	—	—	—	—